

にしじ

退任のご挨拶 企業長 古味 勉 P2

平成30年度 日本脳卒中協会「サノフィ賞」受賞！
 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 久保 光恵 ... P3
 高知医療センター クオリティ・インディケーター
 /クリニカル・インディケーター 2018 ... P4 ~ 5
 わたし、がんばってます【新任医師紹介】 ... P6
 高知医療センター 学術集会/治験を実施しています ... P7
 高知医療センター イベント情報 ... P8

12

DECEMBER 2018 Vol.158



11月27日開催の高知医療センター学術集会にて 職員教育研修委員長：林和俊(右)、最優秀賞：看護局 大砂ゆかり(右)、優秀賞：医療技術局 和田佳晃(左上)、薬剤局 濱田一成(左下)

高知医療センターの理念 — 医療の主人公は患者さん —



退任のご挨拶



企業長
古味 勉

このたび4年間の企業長の任期満了を迎え、12月2日をもって退任することとなりました。

在任中は、地域の医療機関をはじめとする関係諸機関の皆さまのご支援、ご協力を賜り、また、諸先輩、職員に支えられ、任期を全うすることができました。心から感謝、御礼申し上げます。

この間、高知医療センターでは、新たな経営計画(平成28～32年度)を策定し、「医療機能の充実・強化」と「安定した経営基盤の確立」に取り組んでまいりました。

そして医療機能面では、がんサポートセンターの整備や、患者支援センターの開設などによる機能拡充を進めるとともに、関係機関のご協力を得まして、懸案となっておりました精神科成人患者の入院診療を平成30年度から再開することができました。

また経営面では、会計処理の適正化や材料費、委託料などの抑制に努め、平成29年度の決算まで経常収支の黒字を維持することができました。これからも健全化への取組が必要であり、決して楽観できるものではありませんが、高知市の財政部門のOBである私としては、ひとまず安堵しているところです。

これからも人口構造の変化や患者さんの意識の変化、医療制度改革、医療技術の進歩・高度化への対応など、様々な環境変化への対応が求められる中で、高知医療センターは、引き続き「医療の主人公は患者さん」の理念のもと、高知県の中核的な公立病院、高度急性期病院として、良質で安心・安全、そして高水準な医療を提供することにより、県民・市民からの信頼、期待に応えていかなければなりません。

そして、地域包括ケアシステムの実現に向けて、県民・市民が健康で安心して生活することができるよう、医療、介護、福祉などの各関係機関との連携、協力をさらに幅広く、強化していくことが必要だと思っています。

皆さまには、今後とも高知医療センターへのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後に、重ねて皆さまに感謝申し上げ、退任のご挨拶といたします。ありがとうございました。



news!

平成30年度 日本脳卒中協会 「サノフィ賞」受賞!



高知ストロークナーシングセラピストチーム

地域医療連携室 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 久保光恵

日本脳卒中協会「サノフィ賞」は、脳卒中患者・家族に対する教育・訓練・社会参加への支援活動を促進するための活動に貢献した、個人あるいは団体を選定し顕彰することを目的としています。

私が所属する高知ストロークナーシングセラピストチームの脳卒中啓発活動が、このたび脳卒中リハビリテーション看護認定看護師を中心とした脳卒中啓発活動の、モデルとなるような活動であると評価され、サノフィ賞を受賞しました。



具体的には、高知県に住む脳卒中リハビリテーション看護認定看護師7名がチームを組み、要請があった高知県の地域・病院へ出向いて、脳卒中に関する知識の普及と早期発見・早期治療を受けられるための情報提供を実施しています。最近では座学だけでなく、体験学習や寸劇を取り入れて、わかりやすく関心を高めるような工夫をしています。

2015年から活動を始めて、3年間に計19か所で行いました。立派な盾と副賞25万円をいただきました。この賞をはげみに今後も活動を続け、脳卒中の早期発見、予防につなげていきたいと思っています。





高知医療センター

クオリティ・インディケーター (QI) クリニカル・インディケーター (CI)

2017年度のクリニカル・インディケーターを報告します。全体的には、いずれの指標にも改善傾向がみられます。全国の同規模病院と比較しても、遜色ないレベルにあるのかどうか、今後は日本病院会QIプロジェクト、国立病院機構臨床評価指標を用いた評価を加えることによって比較検討していく予定にしております。また、測定した結果は各診療の場へfeedbackするとともに、今年末受診予定の病院機能評価更新の準備段階で抽出された問題点も含め、TQM委員会が主体となり、さらなる改善を進めていきたいと考えております。

高知医療センター TQM委員会 古田 美香
委員長 森田 荘二郎

高知医療センター臨床評価指標 (QI / CI) 第11回 2017年度 (平成29年度) 集計 (全44項目)

1 個別診療機能指標 (26項目)

指標番号	指標名称	H25	H26	H27	H28	H29	算出単位	分子 / 分母および備考
1	脳神経外科退院患者の深部静脈血栓発生率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	年	分子：退院時病名に深部静脈血栓がある患者数 分母：脳神経外科年間退院患者総数 備考：入院時、すでに血栓があったと科長が判断できた症例は除いた。H29年の分母は681例
2	脳神経外科における術後48時間以内の再手術 (%)	1.89	1.04	1.22	1.09	2.21	年	分子：科内の術後48時間以内の再手術例数 ((再手術は脳外→脳外と定義する)付随する手術を含む) 分母：脳神経外科における手術実施患者数 備考：指標の趣旨から、ここでは緊急再手術をカウントすることとした。H29年の分母は136例
3	脳血管障害患者の平均在院日数 (日)	16.8	21.4	23.8	21.4	17.7	年	分子：脳血管障害患者延べ在院日数 分母：脳血管障害患者総数
4	脳梗塞患者へのt-PA投与件数 (件)	24	25	83	147	111	年	分子：カテゴリーに当てはまる投与総数 分母：-
5	糖尿病・内分泌内科医師の指示による外来個人栄養指導件数 (件)	495	370	295	298	420	年	分子：年間延べ数 分母：- 備考：人数でなく、件数とした
6	糖尿病患者の血糖コントロール (%)	57.1	59.6	50.9	55.7	55.4	年	分子：HbA1cの最終値が7.0%未満の外来患者数 分母：糖尿病の薬物治療を施行されている外来患者数
7	気管支鏡検査実施後の気胸発生率 (%)	0.0	0.4	0.8	0.8	0.0	年	分子：検査後気胸発生症例数 分母：気管支鏡施行症例数 備考：H29年の分母は239例
8	造血幹細胞 (同種、自家) 移植実施数 (件)	10	12	15	32	30	年	分子：造血幹細胞移植実施数 (同種、自家) 分母：- 備考：血液内科・輸血科、小児科の実績を合わせた実施数
9	輸血時の不規則抗体スクリーニング検査の陽性率 (%)	3.7	4.0	3.8	6.2	6.6	年	分子：その他陽性件数 分母：輸血時の不規則抗体スクリーニング依頼件数 備考：輸血時の不規則抗体スクリーニング依頼件数は、H29年は5,244例で陽性は345件
10	腎生検 (腎臓内科・膠原病科) における併発症発生率 (件)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	年	分子：腎臓内科・膠原病科での併発症発生数 分母：腎臓内科・膠原病科での腎生検総数
11	大腸内視鏡治療・処置後の緊急手術率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	年	分子：穿孔による開腹手術症例数 分母：大腸内視鏡ポリペクトミー・粘膜切除術実施総症例数 備考：H29年の分母は348例
12	総胆管結石処置後の緊急手術率 (%)	0.0	0.5	0.0	0.0	0.7	年	分子：穿孔による開腹手術症例数 分母：総胆管結石処置実施総症例数 備考：H29年の分母は135例
13	脳卒中患者における受診から画像検査 (CT/MRI) までの時間 (分)	26.1	26.8	21.5	18.3	14.8	年	分子：救命救急センターに搬送された脳卒中患者におけるdoor to CT (MRI) 時間 (分) の中央値 分母：- 備考：時間は病院到着時から、CTあるいはMRI検査撮影時刻までを電子カルテ記録から算出した時間
14	急性心筋梗塞患者における受診からPCI治療までの時間 (分)	-	63	66	61	45	年	分子：救命救急センターに搬送された急性心筋梗塞患者 (ST上昇) におけるdoor to balloon 時間 (分) の中央値 分母：- 備考：時間は病院到着時刻から、血管形成術施行時刻までを電子カルテ記録から算出した時間
15	救命救急センター受診から入院までの所要時間 (分)	103	115	124	128	128	年	分子：救命救急センター受診からそのまま入院となった患者における受付から入室までの所要時間 (分) の中央値 分母：-
16	ヘリポート利用数 (件)	463	444	564	627	539	年	分子：ヘリ搬送件数 (搬入・搬出を含む) 分母：-
17	同一入院中で2回目以降の手術が緊急手術 (予定していなかった手術で科を問わない) であった患者の割合 (%)	1.49	1.72	1.80	1.75	1.56	年	分子：同一入院中で2回目以降の手術が緊急手術 (科を問わない予定外手術) であった患者数 分母：入院手術患者数 備考：同一入院中に2回以上手術を受けた患者リストから該当例を抜き出した。分母は被手術実人数で、H29年の分母は4,678例
18	輸血製剤廃棄率 (%)	1.06	1.28	1.07	0.72	0.68	年	分子：廃棄赤血球製剤単位数 分母：輸血管理室から出庫した赤血球製剤単位総数 備考：輸血管理室よりのデータで自己血分を除く。H29年の分母は11,242単位、分子は77単位
19	顎骨骨折観血的整復手術後の予定しない再手術率 (%)	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	年	分子：術後感染、プレート破損などによる再手術件数 分母：手術実施患者数 備考：H29年の分母は11例

指標番号	指標名称	H25	H26	H27	H28	H29	算出単位	分子 / 分母 および 備考
20	呼吸器外科手術後在院死亡率(%)	0.00	1.60	3.29	1.53	0.00	年	分子:手術後在院死亡数 分母:呼吸器外科全手術数 備考:H29年の分母は194例
21	呼吸器外科における胸腔鏡手術率(%)	77.8	73.8	72.8	79.6	82.5	年	分子:呼吸器外科全手術のうち胸腔鏡手術数 分母:呼吸器外科全手術数 備考:H29年の分母は194例
22	整形外科手術のうち、緊急手術例の割合(%)	15.0	16.7	17.1	17.2	15.7	年	分子:緊急で行われた整形外科手術数 分母:整形外科手術総数 備考:該当患者(分子)の選別は手術部責任者に確認した。H29年の分母は1,016例
23	DPC院内感染症発生率①敗血症発生率(%)	6.53	7.37	6.59	6.79	5.08	年度	分子:敗血症となった症例数 分母:中心静脈注射実施症例数 備考:H29年度の分母は1,181例
24	DPC院内感染症発生率②肺炎感染発生率(%)	12.25	9.39	8.33	11.26	9.85	年度	分子:肺炎となった症例数 分母:人工呼吸実施症例数 備考:H29年度の分母は619例
25	DPC院内感染症発生率③尿路感染発生率(%)	0.81	0.77	0.78	1.31	1.67	年度	分子:尿路感染となった症例数 分母:膀胱留置カテーテル使用症例数 備考:H29年度の分母は4,003例
26	DPC救急搬送症例死亡率(%)	6.4	6.4	6.9	6.0	6.2	年度	分子:死亡症例数 分母:救急搬送症例数 備考:H29年度の分母の2,419例(DPCの様式1に該当するケース)は、救急車で来院後、入院した患者のうち病院間搬送に該当する例など、様式1から除外すべきケースを除いたものとなっている。従ってこの集計方法では外来扱いのまま死亡した患者は含まれていない

2 総論的診療機能指標(質的指標を中心とする)(18項目)

指標番号	指標名称	H25	H26	H27	H28	H29	算出単位	分子 / 分母 および 備考
27	外来予約時間順守率(%)	84.8	76.7	73.6	74.6	69.9	年度	分子:分母のうち30分の予約時間枠内に診療の始まった患者数 分母:外来診療予約患者総数(予約時刻に遅れた患者を除く) 備考:30分毎に設定されている診療予約枠内で、予約のとおり医師の診療が始まった患者割合を算出した
28	ボランティア1人あたりの月平均活動回数(回)	2.8	3.0	3.0	2.6	2.9	年度	分子:ボランティア活動回数 分母:ボランティア活動人数 備考:マクドナルドハウスでの活動を除く。年度集計は3月～2月の12ヶ月とした
29	ボランティア1人あたりの月平均活動時間(時間)	8.2	8.0	7.0	8.0	6.3	年度	分子:ボランティア活動総時間 分母:ボランティア活動人数 備考:マクドナルドハウスでの活動を除く。年度集計は3月～2月の12ヶ月とした
30	剖検率(%)	3.3	3.1	3.2	4.2	2.8	年度	分子:剖検数 分母:死亡患者数(入院+外来)
31	褥瘡発生率(%)	1.3	1.2	1.4	1.1	0.8	定点	分子:調査日に褥瘡(深さd1)を保有する患者数-入院時褥瘡保有患者数 分母:調査日の入院患者数 備考:日本褥瘡学会調査委員会の提唱する方法によりスキャン・サポート室にて集計した
32	受付後、影響がレベル0～1と判定されたインシデントレポートの職員1人あたりの平均報告件数(件)	1.00	0.80	1.07	1.10	1.05	年度	分子:レベル0～1の報告数(報告数は同一事例についての重複報告を含む年度総数) 分母:インシデントレポートを報告すべき職員総数 備考:影響レベルが0～1の報告数が多きことは、医療安全に関する組織および職員のリスク感受性の指標とされる。H29年度のインシデントレポート総数は2,892件で、影響レベル0～1と判定されたレポート数は1,250件、レポート報告が可能な総職員数は1,194名
33	インシデントレポートで報告された事案のうちアクシデント(レベル3以上)の割合(%)	0.37	0.65	0.40	0.41	0.59	年度	分子:インシデントレポートで報告された事案のうちアクシデント(レベル3b以上)の事例数 分母:レベル0～5のインシデントレポート報告事例総数(重複事例を含まない) 備考:この発生率が低いほど医療の質が高いと評価できる。H29年度の事例総数は2,667件、このうちレベル3b以上は16件
34	医師からのインシデントレポート報告率(%)	4.0	5.0	4.8	5.9	3.7	年度	分子:医師からのインシデントレポート報告数 分母:インシデントレポート総数 備考:インシデントレポートシステムから医療安全管理室にて集計した。H29年度の分子は107件、分母は2,892件
35	入院患者での転倒・転落率(%)	0.21	0.22	0.18	0.18	0.18	年度	分子:入院中の転倒・転落患者数(延べ件数) 分母:在院患者延べ数 備考:医療安全管理室にて(件数/患者・日)としてインシデントレポートシステムから集計した。H29年度の分子は323件、分母は174,752件
36	転倒・転落が原因で手術が必要になった患者率(‰)	0.02	0.02	0.01	0.00	0.03	年度	分子:入院中の転倒・転落が原因で手術を実施した件数(延べ件数) 分母:在院患者延べ数 備考:医療安全管理室にて(件数/患者・日)としてインシデントレポートシステムから集計した。H29年度の分子は5件、分母は174,752件
37	退院サマリ作成率(%)	93.4	95.1	95.6	92.1	92.6	年度	分子:退院後2週間以内に診療情報管理士が受け取った件数 分母:総退院患者数 備考:医療情報センター情報システム室にて集計した
38	研修医1人あたりの講習会受講済み指導医(人)	3.32	3.05	3.62	3.13	2.95	年度	分子:認定された指導医講習会を受講している指導医数 分母:在院研修医数 備考:研修管理委員会研修プログラム届出事項。H29年度の分子は65人、分母は22人
39	患者意見のうち感謝文の割合(%)	41.0	46.0	46.0	40.0	40.0	年度	分子:投書された感謝文の件数 分母:投書された意見総数 備考:まごころ窓口にて集計した
40	苦情発生率(%)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	年度	分子:投書された苦情件数 分母:実入院患者総数 備考:まごころ窓口にて集計した
41	地域医療連携室経由の紹介患者に関する受診1週間以内の返書率(%)	92.9	93.2	93.5	93.4	93.5	年度	分子:分母のうち受診から1週間以内に初回返書が書いている患者数 分母:地域医療連携室経由の紹介患者総数 備考:救命救急センターへの紹介患者集計は含まない
42	転院調整のための平均所要日数(日)	11.6	13.3	13.0	—	—	年度	分子:転院調整にかかった日数の合計 分母:転院依頼総数 備考:平成28年度より全入院患者に対し入院後3日以内に退院支援職員が介入し、転院調整が必要な患者には、ただちに支援を開始している。このため転院依頼の日から転院までの日数をカウントする従来の指標は不要になった。
43	職員のインフルエンザワクチン接種率(%)	91.5	92.8	93.2	93.8	92.4	年度	分子:季節性インフルエンザワクチン予防接種実施者 分母:高知県・高知市病院企業団職員 備考:派遣・臨時・非常勤職員を含め、育児休業・病気休職・研究休職・長期の病気休暇中の職員を除く
44	職員の健康診断受診率(%)	98.0	98.8	98.3	98.6	99.7	年度	分子:定期健診受診者数 分母:高知県・高知市病院企業団職員数 備考:臨時・非常勤職員を含め、人間ドック対象者、育児休業・病気休職・研究休職・長期の病気休暇中の職員を除く



わたし、

新任医師紹介

がんばってます



産科 赤間 孝洋 *Takahiro Akama*

自分は2018年10月から、神奈川県の聖マリアンナ医科大学病院より地域医療の一環として、高知医療センター産科に転勤してきた赤間孝洋と申します。まだまだ自分は医者、一人の人間としても非常に未熟であります。これからいろいろな方に至らなく多大なご迷惑をおかけすると思いますが、日々研鑽を積んで皆さまの力に少しでも早くなれるように全力で医療と地域貢献に励んでいきたいと思ひます。また一高知県民、高知家の末弟としても高知を盛り上げるように頑張っていきますのでこれからよろしくお願ひいたします！



眼科 門田 侑也 *Yuya Kadota*

2018年10月より高知医療センター眼科に勤務しております。

生まれも育ちも高知で、高知大学卒業後、高知で初期研修を終えました。今年度より眼科医として後期研修を開始し、新しい環境の中でたくさんのごとを学び、充実した日々を送らせていただいております。

まだまだ未熟者ですが、精一杯努力してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



泌尿器科 坪井 一郎 *Ichiro Tsuboi*

今年の10月付で当院に着任しました坪井一郎と申します。H28年に岡山大学を卒業、その後福山医療センター初期研修を修了し、泌尿器科後期研修医として半年間岡山大学病院で勤務した後、現在に至ります。

高知にはゆかりはありませんが、中高と愛光学園の寮生活をしており、四国の地は懐かしく感じております。医師としてまだ3年目で未熟であります。今後は泌尿器疾患、腎移植を皆さんに信用されるように精進してまいりますので、よろしくお願ひします。



消化器外科・一般外科 戸嶋 俊明 *Toshiaki Toshima*

2018年10月より高知医療センター消化器外科・一般外科に赴任いたしました戸嶋俊明と申します。

当院では下部消化管の外科診療に携わらせていただいております。地域の皆さまのために日々研鑽を積み、安心して治療を受けていただけるよう尽力してまいる所存です。今後ともご指導ご鞭撻のほど何とぞよろしくお願ひ申し上げます。

学術集会を開催しました!



10月27日(土)、当院2階くろしおホールにて、今年で12回目となる学術集会を開催しました。今年も各局から下記のような当院での治療や新しい取り組みについて11演題が発表されました。質疑応答も活発に行われ、充実した内容となりました。また院外から有識者の方々を審査員としてお招きし、最優秀発表に対しての表彰も行なわれました。

Program

- 1.放射線治療室での看護～患者さんと家族を支えるために～ 看護局 がん放射線療法看護認定看護師 前川 真弥
- 2.患者支援センターの取り組み～入院前から多職種チームでサポートします～ 看護局 患者支援センター 西川 美千代
- 3.帝王切開で生まれる児の看取り看護
～手術室で生まれ手術室で亡くなる命を家族と共に看取る～ 看護局 手術看護認定看護師 大砂 ゆかり
- 4.遺伝する癌とは?～遺伝性腫瘍診療体制構築にむけて～ 医療局 乳腺・甲状腺外科 高畠 大典
- 5.救急搬送されたためまい症例の検討:危険なめまいとの鑑別 医療局 耳鼻咽喉科 浦口 健介
- 6.腹腔鏡下胃切除後再建について 医療局 消化器外科・一般外科 高田 暢夫
- 7.当院におけるチームSTEPPS研修の取り組み 医療局 産科婦人科 林 和俊
- 8.検査技師から能動的な情報提供による洗浄血小板の使用推進 医療技術局 血液管理科 石本 倫子
- 9.当院における4DCT撮影症例 医療技術局 放射線技術部 和田 佳晃
- 10.栄養局のフードサービスの取り組みについて
～安心・安全で美味しいお食事を患者さんのもとへ～ 栄養局 管理栄養士 岡 美梨
- 11.「抗菌薬が効かない時代」を食い止める
～AST(抗菌薬適正使用支援チーム)の取り組み～ 薬剤局 薬剤師 濱田 一成

学術集会は当院で提供している医療内容等を、まずは職員間で情報共有し、さらに相互のディスカッションを通じて、チーム医療のさらなる質向上に努めるとともに、日頃、多方面からご協力をいただいている院外のみなさまに、当院の最新の姿をご紹介させていただくことを目的として毎年開催しています。来年度も開催を予定しています。入場無料、事前申込不要でどなたでもご参加いただけます。皆さまのご来院をお待ちしています。

胃がんの術後補助化学療法適応の患者さんにおける免疫チェックポイント阻害薬の治験を実施しています

**胃がん手術予定の患者さんがいらっしゃいましたら
ご紹介していただきますよう
お願いいたします!!**



■連絡先

地域医療連携室 TEL: 088-837-6700 FAX: 088-837-6701

月	日	曜	高知医療センター イベント情報			
12月	3	月	臓器提供に関する問題研究会 (参加費無料・申込不要)			
			内容	脳神経外科からみた臓器提供医療の問題点	場所	高知医療センター 2階 くろしおホール
			時間	18:00～19:40	対象	医療関係者
			講師	高知医療センター 脳神経外科 科長 太田 剛史		
	お問合せ: 高知県腎バンク協会 事務局 吉村・谷 TEL:088(872)6200					
	9	日	第52回 地域医療連携研修会 (参加費無料・申込不要)			
			内容	講演1: 発達障害について 講演2: 総合病院における精神科の役割	場所	高知医療センター 2階 くろしおホール
			時間	10:00～11:00	対象	医療関係者・一般
			講師	講演1: 高知医療センター 精神科 科長 児童精神科 永野 志歩 講演2: 同 ころのサポートセンター長 澤田 健		
	お問合せ: 高知医療センター 地域医療連携室 門田 TEL:088(837)3000(代)					
	13	木	第39回 こうち東部循環器アライアンス (参加費無料・申込不要)			
			内容	心臓病から見た糖尿病	場所	田野町ふれあいセンター(安芸郡田野町1456-42)
時間			19:00～20:30	対象	医療関係者	
講師			座長:中芸クリニック 院長 濱宇津 良治 氏/講師:高知医療センター 循環器病センター長 細木 信吾			
お問合せ: 高知医療センター 事務局 経営企画課 井上 TEL:088(837)3000(代)						
20	木	高知医療センター看護局集合研修 他施設公開研修 (参加費無料・申込要)※申込期限:12月10日(月) お申込方法は※をご覧ください				
		内容	成人BLS/AED研修	場所	高知医療センター 2階 スキルズラボ室	
		時間	9:00～12:00	対象	看護師(3名)	
講師 高知医療センター BLSインストラクター						
22	土	救命救急センター Xmas イベント (参加費無料・申込不要) ★お楽しみイベントあり★				
		内容	ドクターヘリ見学会	場所	高知医療センター 地上ヘリポート	
		時間	10:00～12:00 13:00～15:00	対象	一般	
お問合せ: 高知医療センター 事務局 経営企画課 岩崎 TEL:088(837)3000(代)						
1月	17	木	高知医療センター看護局集合研修 他施設公開研修 (参加費無料・申込要)※申込期限:1月7日(月) お申込方法は※をご覧ください			
			内容	成人BLS/AED研修	場所	高知医療センター 2階 スキルズラボ室
			時間	9:00～12:00	対象	看護師(3名)
	講師 高知医療センター BLSインストラクター					
19	土	平成30年度 第3回 救命救急センターセミナー (参加費無料・申込不要)				
		内容	ERでの病歴・フィジカルアセスメント 臨床推論	場所	高知医療センター 2階 くろしおホール	
		時間	15:00～18:00	対象	医療関係者	
講師 群星沖縄臨床研修センター長 徳田 安春 氏						
お問合せ: 高知医療センター 事務局 経営企画課 江口 TEL:088(837)3000(代)						
※【高知医療センター看護局集合研修 他施設公開研修お申込み】 申込用紙は当院ホームページ 看護局他施設公開研修よりダウンロードできます。必要事項をご記入の上 FAXにてお申し込みください。申込代表者は看護部門の担当者様でお願いいたします FAX:088(837)6766 お問合せ: 高知医療センター 看護局 教育担当(有澤・藤本・川田) TEL:088(837)3000(代)						

※時間等、変更になる場合もございますのでご了承ください。みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

編集後記

平成30年10月28日、『明治150年記念 第38回全国豊かな海づくり大会～高知家大会～』が開催され、天皇、皇后両陛下が高知県にいらっしゃいました。両陛下の来高は16年ぶりになり、来年4月に陛下の退位が公表されておりますので、今回が最後の高知訪問になるのではないのでしょうか。高知県あげでの歓迎となりました。当院も非常事態時にはいつでも対応できるよう準備しておりました。私も待機しておりましたので何事もなく本当にほっとしております。健康は本当に大事だと色々な角度から感じた数日間でした。これから寒さが本格化します。皆さんも健康には日々気をつけてくださいね。

(広報委員 細木)



平成30年12月1日発行
にじ12月号(第158号)
毎月発行
編集者: 広報委員会
発行者: 島田 安博
印刷: 株式会社 高陽堂印刷

発行元:
高知県・高知市病院企業団立
高知医療センター
〒781-8555 高知県高知市池2125-1
TEL:088(837)3000(代)

広報誌「にじ」に関するご要望・ご意見をお寄せください。renkei@khsc.or.jp